



# 聖日礼拝プログラム

今週のみことは

司会者 渡邊貞雄師 奏楽者 渡邊頼子師

讃美 63 わが魂を愛するイエスよ (起立) 一同  
 主の祈り (起立) 一同

讃美 新209 いつくしみ深き  
 交読 詩篇 5 : 1 ~ 3 5

祈 禱 司 会 者  
 聖 書 使徒の働き 15 : 1 ~ 1 2 司 会 者

説 教 「大激論・エルサレム会議」 渡邊貞雄師  
 献 金 新376 如何に汚れたる 岡山信子姉  
 頌 栄 新 63 父、御子、御霊の (起立) 一同  
 祝 禱 牧 師

「私たちは、主イエスの恵みによつて救われると信じていますが、あの人たちも同じなのです。」

使徒の働き 一五・一二



受 = 幸子姉 / 操 = 山口姉 / A = 中川兄 / 報 = 牧師  
 〒15-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG松阪キリスト教会  
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄師  
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2019年6月30日 VOL. 42-26 No. 2226

URL <http://matukyo.com/>  
 Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 今日の聖日は、今年の上半期の最後の日曜日です。明日からは7月、年の後半が開始します。梅雨期中、主と共に歩ませていただきますよ。
- ▼ 7月の教会奉仕者表が掲示されております。礼拝では「使徒の働き」の宣教活動の学びが継続されます。
- ▼ 昨日から本日の午後まで、「東海聖会」が名古屋一麦教会で持たれています。祝福をお祈りください。今

年の講師は、小平牧生先生(兄弟団西宮教会牧師)です。

- ▼ 「ペンテコステ待望祈禱」の証し集が届きました。再度、恵みを味わいましょう



# にれ はみ

2019年6月23日  
聖日礼拝  
使徒の働き14:8~23  
「リステラ伝道」  
説教 渡邊貞雄 師



先回のアンティオキアで手応えを感じたパウロとバルナバだが、ユダヤ人の妨害でリステラに避難を余儀なくされた(1)。この町はアンティオキアから南東100kmの田園地帯でした。

## I、足の不自由な人の癒し(8~10)

伝道すると足が悪いが、真剣に求道する者がいた(8)。パウロもその中に癒しの力を信じる心があったので、大声で「自分の足で真っ直ぐに立ちなさい」と語ると、飛び上がり歩き出した。

神は私たちを新創造されます。神の奇跡的な力で、生まれつき束縛されたものから解放されるのです。自分の足で自由に歩く力、飛び上がる力、自立歩行を可能となして下さるのです。

## II、パウロたちが偶像視される

リステラの人々は、神が人間の姿になったとし、バルナバをゼウス(神々の父)、パウロをヘルメス(ゼウスの子で知恵の神)と呼んだ(11)。人を神と祀るのはギリシャ神話の影響、そして牛の生贄と花輪を準備したが、事の次第を知ったパウロたちは「衣」を裂き中止させた(13、14)。

聖書には、神を神としてあがめず…神の栄光の姿を人間や鳥や這うものに似せて拝むようになったとある(ローマ1章)。パウロは3つの真の神観念を語った。①自然界を通し自己顕示、一般顕示される(17)。②各自の生き方を神は尊重された(16)。③神はイエス・キリストをこの世に送られた(特別顕示)。ここで妨害の石が飛んでパウロを打ちのめした(19)。

## III、パウロの伝道精神(魂)(10)

彼の不屈の精神と情熱を見る。石に打たれ倒れても、息を吹き返し街に戻った(19、20)。帰路に迫害を受けた町々を訪問し激励したこと。パウロは不死鳥の様に蘇生し、福音を語り続けました。パウロは四方八方から苦しめられても、その信仰姿勢を継続しました(II 2コリント4:8~10)。

傷つき倒れていたパウロを取り囲んでいる弟子たちの中に、一人の青年がいたと思われます。この地域では評判の信仰を持った青年(テモテ)でした。このテモテはパウロの困難な宣教に触れて、神の召命を受けて伝道者になりました(16:1~3参照)。

## 世界のニュース



### ◎モンテネグロとセルビア 間で「教会」危機

トルコ放送協会のニュー

ス・サイトは、バルカン半島の最小国モンテネグロが国内にある教会を「国家財産」とすることに関する法案を作成したことがセルビアとの間に危機を招いている、と6月21日報じた。

モンテネグロが、ミロ・ジユカノヴィチ大統領の要請で、教会を「国家財産」とする法案を作成したことに、セルビア東方教会やセルビア国家当局が反発し、モンテネグロ外務省はゾランビングラチ駐モンテネグロ・セルビア大使を呼び出した。

### ◎米務省「信教の自由」報告書 中国、ベトナム、シリア、イラン注目

今年の報告書は、イスラム教徒主体の少数民族ウイグル族らが住む中国の『新疆（しんきょう）ウイグル自治区』

を特に取り上げ、信教の自由の侵害が悪化していると懸念を表明した。

報告書によると、2017年4月以降、中国政府は推計で少なくとも80万人、最大で200万人以上のウイグル族などイスラム教徒を拘束した。自治区の収容所では拷問が横行し、死者が出ているとの報告もある、と指摘している。

### ◎バチカンが既婚男性の司祭 任命を検討、と英BBC放送

バチカン（ローマ教皇庁）が、年配の既婚男性を司祭に任命する案を検討していることが、英公営BBC放送のマーティン・バシール宗教編集長の取材で明らかになった。南米アマゾンの遠隔地での司祭不足対策が目的という。この問題は、2015年に教皇フランシスコが発表した環境問題に関する回勅「ラウダート・シ」で触れていた。

### ◎祈祷会6/26（水）1列王9：1～5 頼子師「いつもそこに」

「そこ」とは、新約の光で見ると私たち自身のことです（1コリ3：16、17）。主の目と心がいつも私にあるとは、何という恵み！

では私にとって目と心が向けられている「そこ」とはどこ？ 痛み、重荷、不調、失敗、大切なもの、小さな未熟な弱い存在、必要、罪の重荷、意識している罪、気付かされている罪？ 捕

らわれている「そこ」ではないでしょうか。

捕らわれている「そこ」以上に、「そこ」に向けられている「主の目と心」主の恵みとみ思いを覚えていきたい。



## こ れ か ら の 集 会

- ◎7/10(水)C C P N 祈 禱 会
- ◎7/14(日)ビデオによる合同組会  
(ビデオ:夜明けの祈り)
- ◎7/22(月)C O G 定 例 理 事 会
- ◎7/28(日)ガ ラ ポ ン 組 会

◆今週の祈禱会(司)山口姉(説)渡邊師

- 来週礼拝使徒17:10~15
- 主 題「ベレアの伝道」

## 定 期 集 会 の ご 案 内

- ◇楽しい組会(日)午前10:00~10:45
- ◇聖日礼拝(日)午前11:00~12:00
- ◇早天祈禱会(火土)朝6:30~7:00
- ◇祈 禱 会(水)午後7:00~8:15

## 来 週 の 奉 仕 者

- ◎礼拝司会 中川兄
- ◎礼拝奏楽 頼子師
- ◎礼拝献金 幸子姉
- ◎受 付 真理姉
- ▽教会学校 随 時
- ▽ヤ ン グ 随 時
- ▽ア ハ ン 山口姉
- ▽ホ レ ブ 中川兄
- ▽教会ナビ 教 役 者
- ▽昼食当番 な し
- ▽アツシャー 福田姉
- ▽S S 入力 頼子師
- ▽P P T操作 中川姉

《《《 2019年スローガン「愛は建て上げる ~会い・合い・愛~」 エペソ4:16 》》》  
「キリストによって…組み合わされ、つなが合わされ、…愛のうちに建てられる」

●「何かいいアイデアはないのか!」こんな檄を飛ばされる会議ほど意味のないものはない。会議室の机で頭を抱えて考えて、現場で通用するアイデアが浮かぶ

はずがない。

【秋元征紘/  
ジャイロ経営塾代表】



①聖書のヨハネ4:24には以下の様に勧められています。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」



②始まる時間と、5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。

③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。

④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のこばに耳を傾けましょう。

⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心からの喜びをもっておささげしましょう。

⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。

⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。